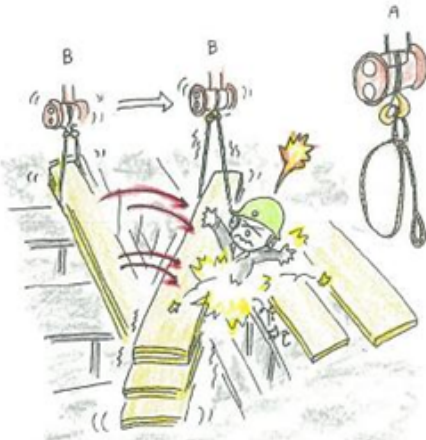


② 挟まれ
巻き込まれ

天井クレーンが逸走し、挟まれた

発生状況



一人作業で部材の玉掛けを行っていた時、片側だけを玉掛けした状態でクレーンが動いたため荷が振れて、部材とコンベアとの間に挟まれた

原因

- ✓ 起動押しボタンと走行レバーが構造物等に接触し、テレコンのレバーが倒れてクレーンが動いた(推定)
- ✓ コンベア上で作業中、身体のバランスを崩しテレコンの走行レバーを倒してしまい、クレーンが動いた(推定)
- ✓ 設備の危険性に対する認識が不十分だった



防止対策

- ✓ 起動押しボタン頂部に誤作動防止ガードを追設
- ✓ 安全な位置と姿勢を確認してからクレーンを操作する
- ✓ 通路に作業床を敷き、高さを統一して挟まれる箇所を無くす



POINT!

テレコンの誤作動・誤操作には十分注意!



DATA

発生年月日
2011.03.09

発生場所

部材置場

作業名・作業内容

クレーン玉掛け
作業

死傷病名

骨盤骨折、出血
性ショック死

職種

加工職

社/協

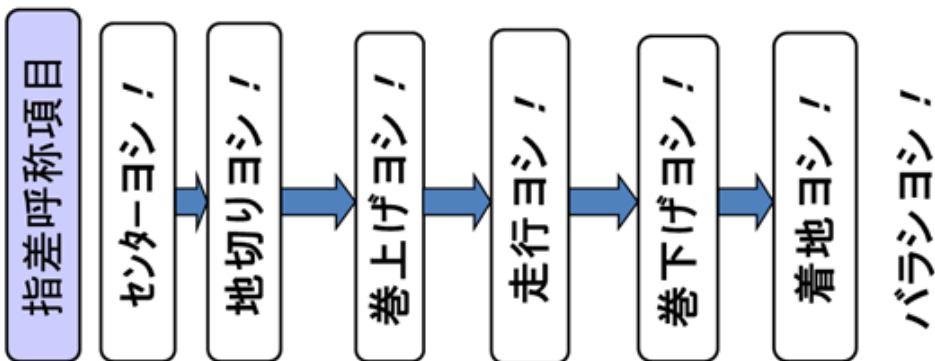
社員

年齢

59才

経年数

41年



指差呼称のタイミング	確認項目	次の行動
玉掛け完了時 (クレーンワイヤー緊張時)	<ul style="list-style-type: none"> 重量、吊り具の確認 フックのセンター位置 	地切り
地切り前	<ul style="list-style-type: none"> 自分の立つ位置 人払い 	巻上げ
地切り後、巻上げ前	<ul style="list-style-type: none"> 荷の安定、動き 吊り具の状態 巻上げに障害となる物の有無 	移動開始
走行・横行の開始前	<ul style="list-style-type: none"> 移動に障害となる物の有無 移動通路の確保 ・人払い 	走行・横行
巻下げ前	<ul style="list-style-type: none"> 巻下げに障害となる物の有無 着地位置の状態 自分の身体の位置 	着地
着地後、玉掛けバラシ前	<ul style="list-style-type: none"> 吊り荷の安定性 着地位置の確認(直角・水平) 	バラシ